

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年10月29日

上場会社名 ファナック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6954 URL https://www.fanuc.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 賢治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 藤井 敬介 (TEL) 0555 (84) 5555
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	230,411	△ 11.7	32,321	△ 34.1	38,220	△ 33.1	28,112	△ 30.0
2020年3月期第2四半期	260,953	△ 24.4	49,024	△ 50.2	57,090	△ 49.0	40,185	△ 50.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 34,359百万円(59.1%) 2020年3月期第2四半期 21,593百万円(△75.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	146.55	—
2020年3月期第2四半期	208.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,503,237	1,363,826	90.2
2020年3月期	1,512,499	1,362,865	89.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,355,196百万円 2020年3月期 1,355,100百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	125.35	—	174.65	300.00
2021年3月期	—	87.93	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2020年3月期 期末配当金の内訳 普通配当103円79銭 特別配当70円86銭

(注) 2021年3月期の期末の配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	502,500	△ 1.1	85,400	△ 3.3	96,300	△ 6.3	71,800	△ 2.1	374.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当予想は、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大の程度や収束の時期などにより大きく変動する可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響をお知らせします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	201,922,097株	2020年3月期	204,031,841株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	10,100,486株	2020年3月期	12,205,848株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	191,823,779株	2020年3月期2Q	192,359,131株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績見通し等の将来に関する記述は、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご承知お願います。なお、2021年3月期の期末の予想配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
3. 注記事項に関する情報	10
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	10
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	10
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から9月30日まで）における当社グループを取り巻く状況につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、世界的に設備投資の減少傾向が続くなど、厳しい市場環境となりましたが、中国がいち早く回復した他、その他の地域も期の後半から緩やかに回復してきました。当社グループにおきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止を最優先としつつ、お客様への商品の供給とサービス活動の継続に努めてきました。また、市場環境の変化に対処すべく、経費削減、不要不急な設備投資の見直し、業務の合理化など企業体質の強化を図っています。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が2,304億11百万円（前年同期比11.7%減）、経常利益が382億20百万円（前年同期比33.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が281億12百万円（前年同期比30.0%減）となりました。

部門別の事業の概況につきましては、次のとおりです。

FA部門については、CNCシステムの主要顧客である工作機械業界の需要は、中国では回復し好調に推移しました。インドでも、農機、二輪車関係を中心に徐々に需要が回復しています。日本国内や韓国、台湾では需要が低調に推移し、第1四半期にロックダウンの影響が顕著であった欧州も引き続き需要が落ち込みました。ただし、いずれの地域でも中国市場向けの輸出需要が少しずつ増えてきています。レーザについては、需要が世界的に低調に推移し、海外メーカーとの厳しい競争も継続しています。これらの結果、FA部門の売上高は674億27百万円（前年同期比12.2%減）となりました。

ロボット部門については、中国ではIT関連の他、EV、建機、重機およびその他の機械加工向けも加わり、売上が好調に推移しました。米州では一般産業向けが堅調で、自動車産業向けもEV関連の需要を取り込み、売上が回復傾向にあります。一方、国内および欧州では売上が低調に推移しました。これらの結果、ロボット部門の売上高は880億37百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

ロボマシン部門については、ロボドリル（小型切削加工機）において、中国におけるパソコン、タブレット市場向けの需要が徐々に増加したため、売上が増加しました。ロボショット（電動射出成形機）については、売上は前年同期に比べて減少しましたが、医療市場向けを中心に拡販に努めました。ロボカット（ワイヤカット放電加工機）については、市場の低迷に伴い売上が減少しました。これらの結果、ロボマシン部門の売上高は394億51百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

サービス部門については、世界各地でのロックダウンなどによる影響を受け、お客様の工場の稼働停止や工場の稼働率低下等により、当社サービスへの依頼が減少したものの、経済活動の再開に伴って当社サービスへの依頼が回復傾向にあります。これらの結果、サービス部門の売上高は354億96百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

資産合計は、前年度末比 92 億 62 百万円減の 1 兆 5,032 億 37 百万円となりました。

負債合計は、前年度末比 102 億 23 百万円減の 1,394 億 11 百万円となりました。

純資産合計は、前年度末比 9 億 61 百万円増の 1 兆 3,638 億 26 百万円となりました。

なお当社は、当社の株主還元方針（2020 年 4 月 24 日公表の 2020 年 3 月期決算短信に記載）に基づき、発行済株式総数の 5%を超える自己株式（2,109,744 株、22,095 百万円）を 2020 年 5 月 29 日付で消却しました。（本消却に伴う純資産合計額への影響はありません。）

②キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年度末比 175 億 37 百万円減の 4,974 億 71 百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比 258 億 42 百万円減の 471 億 21 百万円であり、これは主に税金等調整前四半期純利益が減少したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比 214 億 25 百万円減の 310 億 73 百万円であり、これは主に有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同期比 804 億 50 百万円減の 343 億 85 百万円であり、これは主に配当金の支払額が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する説明

IT 関連の需要が好調なことに加えて、ロボットの需要が増加することが見込まれることから、2020 年度（2021 年 3 月期）の連結業績予想を以下のとおりとします。

ただし、当予想は、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大の程度や収束の時期などにより大きく変動する可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響をお知らせします。

通期

(金額：百万円)

	前回発表予想 (2020年7月28日)	今回公表予想	増減率
売上高	423,300	502,500	18.7%
営業利益	38,500	85,400	121.8%
経常利益	47,700	96,300	101.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	34,500	71,800	108.1%

注) 2020年10月から2021年3月までの期間における為替レートは、平均100円/ドル、120円/ユーロを想定しています。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	405,861	402,246
受取手形及び売掛金	85,266	83,715
有価証券	126,700	126,700
商品及び製品	65,122	69,114
仕掛品	51,979	46,357
原材料及び貯蔵品	25,450	28,583
その他	10,833	10,913
貸倒引当金	△831	△786
流動資産合計	770,380	766,842
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	310,060	313,699
土地	146,085	147,168
その他（純額）	140,991	127,148
有形固定資産合計	597,136	588,015
無形固定資産	10,219	9,921
投資その他の資産		
投資有価証券	83,337	90,518
その他	51,883	48,398
貸倒引当金	△456	△457
投資その他の資産合計	134,764	138,459
固定資産合計	742,119	736,395
資産合計	1,512,499	1,503,237

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,974	27,345
未払法人税等	9,270	8,458
アフターサービス引当金	8,306	7,619
その他	56,413	46,413
流動負債合計	100,963	89,835
固定負債		
退職給付に係る負債	44,652	45,558
その他	4,019	4,018
固定負債合計	48,671	49,576
負債合計	149,634	139,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	69,014	69,014
資本剰余金	96,265	96,265
利益剰余金	1,351,122	1,323,984
自己株式	△127,822	△105,810
株主資本合計	1,388,579	1,383,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,058	10,680
為替換算調整勘定	△26,608	△27,942
退職給付に係る調整累計額	△11,929	△10,995
その他の包括利益累計額合計	△33,479	△28,257
非支配株主持分	7,765	8,630
純資産合計	1,362,865	1,363,826
負債純資産合計	1,512,499	1,503,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	260,953	230,411
売上原価	164,390	156,680
売上総利益	96,563	73,731
販売費及び一般管理費	47,539	41,410
営業利益	49,024	32,321
営業外収益		
受取利息	2,059	1,237
受取配当金	1,008	744
持分法による投資利益	4,888	4,948
雑収入	1,614	1,173
営業外収益合計	9,569	8,102
営業外費用		
為替差損	485	812
投資有価証券評価損	—	648
雑支出	1,018	743
営業外費用合計	1,503	2,203
経常利益	57,090	38,220
特別損失		
減損損失	1,973	—
特別損失合計	1,973	—
税金等調整前四半期純利益	55,117	38,220
法人税、住民税及び事業税	14,205	9,159
法人税等調整額	87	71
法人税等合計	14,292	9,230
四半期純利益	40,825	28,990
非支配株主に帰属する四半期純利益	640	878
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,185	28,112

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	40,825	28,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	296	5,621
為替換算調整勘定	△18,792	824
退職給付に係る調整額	1,355	934
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,091	△2,010
その他の包括利益合計	△19,232	5,369
四半期包括利益	21,593	34,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,566	33,333
非支配株主に係る四半期包括利益	27	1,026

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	55,117	38,220
減価償却費	22,209	21,725
減損損失	1,973	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△222	△55
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	319	758
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	455	437
受取利息及び受取配当金	△3,067	△1,982
持分法による投資損益 (△は益)	△4,888	△4,948
売上債権の増減額 (△は増加)	9,195	830
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,944	△1,103
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,393	384
その他	4,115	△2,995
小計	78,757	51,271
利息及び配当金の受取額	9,721	5,633
法人税等の支払額	△15,943	△9,961
その他	428	178
営業活動によるキャッシュ・フロー	72,963	47,121
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△14,413	△28,979
定期預金の払戻による収入	14,228	14,345
有形固定資産の取得による支出	△49,432	△14,627
その他	△2,881	△1,812
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,498	△31,073
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△35,769	△85
配当金の支払額	△78,439	△33,561
その他	△627	△739
財務活動によるキャッシュ・フロー	△114,835	△34,385
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,361	448
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△106,731	△17,889
現金及び現金同等物の期首残高	607,714	515,008
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	352
現金及び現金同等物の四半期末残高	500,983	497,471

3. 注記事項に関する情報

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

- (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2020年4月24日開催の取締役会決議に基づき、2020年5月29日付で、自己株式2,109,744株の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金が22,095百万円、自己株式が22,095百万円それぞれ減少しております。